

令和2年度事業報告

公益社団法人 掛川市シルバー人材センターの 令和2年度事業及び活動について、次のとおり報告いたします。

概要

令和2年度における経済状況は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の制限・自粛要請により、小売店・娯楽施設などの人出は大幅な減少となり、政府による特別定額給付金やキャッシュレス・ポイント還元事業終了前の駆け込み需要があつて多少回復したものの、景気回復には程遠い状況であります。

当センターでも、極めて難しい事業運営であり、娯楽施設の受注減などの影響があり、会員を始め役員各位の御協力を頂きましたが、契約実績では派遣事業を含め前年度比約8%減となる実績となりました。

民間企業や一般家庭などからの受託額は新型コロナウイルス感染の影響を若干受けておりますが、概ね落ち着いた状況にあります。しかし、会員の増員計画では、様々な対策や活動を展開して参りましたが、当初で目標とした数値計画を達成できておりません。このような中、令和2年度の事業実績は、多くの関係各位の御支援・御協力を賜りまして新型コロナウイルス感染の影響を受けながらも、健全且つ着実な事業運営が実現できました。

事業実績の数値は、会員数 681 人（前年比 35 人減 95.1%）契約額は 436, 121 千円（前年比 37, 839 千円減 92.0%）、会員配分金では 370, 993 千円を配分することができました。就業延人員は 82, 064 人となり、前年比（9, 917 人減 89.2%）となっています。

懸案である傷害事故並びに損害事故の抑止対策は、安全・適正就業委員会を中心として安全就業等に対する周知徹底や、啓発事業等に積極的に取組んで参りましたが、傷害事故が 7 件（前年比 2 件増）、損害事故は 5 件（前年比 2 件減）発生しております。

今後においても、役員、地域リーダーを始めとし、全会員が一丸となり、安全就業の徹底と就業機会の拡大を推進するとともに、医療保険や介護予防等の観点からも重要な役割を果たしつつ、これまで以上に地域社会への貢献を目指して参ります。

また、厳しい財政状況下ではありますが、掛川市を始めとして、関係機関、関連企業並びに市民各位の更なる御支援・御協力を切にお願い申し上げます。

令和2年度事業報告 附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月 公益社団法人 掛川市シルバー人材センター